| 学校番号 | 3010 |
|---|---|

令和8年度　　工業　　科

| 教科 | 工業 | 科目 | 建築計画 | 単位数 | 3 単位 | 年次 | 3 年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 建築計画（実教出版 工業749) | | | | | | |
| 副教材等 | カラー版 図説 建築の歴史 西洋・日本・近代 自主編成資料 等 | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築デザインを行うにあたって、実際に設計をすすめるには、建築計画をしっかりと理解していなければ、図面を描くことはできません。ここでは、建築の歴史的な変遷、都市計画、建築と環境について学習し、実習や課題研究で行う建築物の計画や設計に活かします。過去の建築物、またその背景について学び、新しいデザインを見出す力を身につけてください。ノート・レポート・定期考査などで評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

建築の歴史的な変遷、都市計画、建築と環境などの建築計画に関する基礎的な知識と技術を習得させ、建築空間の美観性・合理性・安全性に十分配慮し、建築物を計画できる能力と態度を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】

建築史について深く掘り下げ、時代背景や技術の進歩による建築の変遷の知識を習得させることによって、新たな建築物を創造できる能力と態度を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】

安全で快適な建築物を計画する力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a：知識・技術 | b：思考・判断・表現 | c：主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 建築の各分野の基礎的・基本的な知識・技術を活用して立案した建築計画を合理的かつ適切なものにするため、歴史的過程やその根拠となるデータや数値を抽出・算出できる実験・実習の方法を習得している。 | 建築計画にかかわる問題点や課題を建築の各分野の基礎的・基本的な知識・技術を活用して思考・判断し、その解決策を的確に表現できる能力を身につけている。 | 建築計画に興味・関心をもち、その目的や意義をはじめ、建築の歴史的デザインの過程やそれと建築物のつくり出される過程とのかかわりなどを理解するため、真摯な態度で主体的に取り組んでいる。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 西洋の建築の移り変わり | 西洋の建築の歴史<br>・古代から近世まで<br>・近代の建築<br>・現代の建築 | a:西洋の建築の歴史について基礎的・基本的な知識を身につけている。<br>b:西洋の建築の歴史について理解し、建築物の計画や設計に活かすために、思考・判断し、表現できる能力を身につけている。<br>c:西洋の建築の歴史について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 | 学習状況の観察 | 定期考査の結果等 | ノートやプリントの記述 |
| 2 | 日本の建築の移り変わり | 日本の建築の歴史<br>・原始から近世まで<br>・近代の建築<br>・現代の建築 | a:日本の建築の歴史について基礎的・基本的な知識を身につけている。<br>b:日本の建築の歴史について理解し、建築物の計画や設計に活かすために、思考・判断し、表現できる能力を身につけている。<br>c:日本の建築の歴史について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 | 学習状況の観察 | 定期考査の結果等 | ノートやプリントの記述 |
| 3 | 都市計画・建築環境 | 屋外環境と室内環境<br>換気と通風<br>伝熱と結露採光と照明<br>音響 | a.都市計画や建築を取り巻く環境について、基礎的・基本的な知識を身につけている。<br>b.都市計画や建築を取り巻く環境について理解し、建築物の計画や設計に活かすために、思考・判断し、表現できる能力を身につけている。<br>c.都市計画や建築を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 | 学習状況の観察 | 定期考査の結果等 | ノートやプリントの記述 |

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度